

● 世界の主な火山活動

平成 25 年（2013 年）9 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

シナブン（Sinabung） インドネシア（図中 A） 標高 2,460m

1～14 日にかけて、濃密な白色噴煙が火口縁上 100～150m 上昇し、14 日の夜には火映が観測された。

15 日には噴火が発生し、北東に 50km 離れた地域で降灰が確認された。火山から半径 3 km 以内の範囲から約 3,000 人が避難し、北東 55km にあるメダンにある空港では複数便が欠航となった。17 日の噴火は 15 日より規模が大きく、航空機から海拔 6.1km の火山灰を含んだ噴煙が観測されている。

18 日には火山灰の放出は観測されなくなり、報道によれば、22 日には避難していた住民は戻り始めている。

サンタマリア（Santa María） グアテマラ（図中 B） 標高 3,772m

サンタマリアのサンチャギト溶岩ドームにおいて、引き続き爆発的噴火が度々発生している。17～18 日にかけての爆発的噴火では、噴煙が 900m まで上昇した。21 日に発生した爆発的噴火では、火口縁の崩壊に伴う火砕流が発生し、噴煙が 2 km まで上昇した。噴火に伴う空振は 20km 離れた所まで確認され、山頂から 10km 以内の範囲では空振により建物が振動した。

火山泥流も度々発生しており、南山腹で幅 15m、厚さ 6 m の規模のものが発生した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

